

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公害測定機器更新事業				会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造			主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	各測定局の公害測定機器	意図	経年劣化に伴う公害測定を常時データを確保できるよう更新を行う
事業内容	大気汚染防止法に基づく大気汚染状況の常時監視及び様々な原因による大気の測定を行うため、公害測定機器を更新する。			
事業開始から現在までの状況変化	環境基本計画に基づき、老朽化した公害測定機器を適時更新していく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	測定装置更新費	1,141,350	0	621,000	円	→→
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 更新機器の種類によって指標が変わるため、指標で費用対効果は表せない。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,433,390	1,257,660	1,864,668			
事業費(b)(円)		1,141,350		621,000			
うち一般財源		1,141,350					
職員給与費(c)(円)		1,292,040	1,257,660	1,243,668			
人役・職員(人)		0.18	0.18	0.18			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	事務改善を行い経費の削減を図る。	③取り組みの課題	事務改善
②今年度(H26)に実施した取り組み	事業の必要性や効率性について検証を行った。予算執行にあたっては経費の削減に努めた。	④今後の改善計画	事務改善による経費の削減